

## 2018・小学校高学年「ぼくとベルさん：友だちは発明王」

主人公のエディは文字を読むことや書くことが苦手です。私は（苦手なこと / 他の人より時間がかかること）  
が 苦手です / 時間をかけないとできません / やりたくないことです。

できれば、やりたくない / 人と比べられたくない / さぼりたい / 誰かに代わってほしい と思ってしまいます。

エディは、  
なところが  
共感できました / 好きになりました / えらいと思いました / 私に似ているなと思いました。

でも、  
なところが私とはちがうと思いました。

私が一番好きな登場人物は、○○○○○○です。なぜなら、  
だからです。

○○○○○○の「  
」という言葉 / 場面は  
だと感動しました / なるほどなと思いました / 好きになりました。

もし私がエディなら、まわりの人に理解してもらえないとき  
するだろう / しないだろう と思いました。

エディの  
というところを  
見習いたい / お手本にしたい / まねしたい / 目標にしたい / 少しでも近づけるようにしたい です。

私が一番好きな場面は、  
です。

なぜなら、  
だからです。

私も（理解してもらえない / 自分の気持ちを伝えられない体験 / 思い出）  
ということがありました。

そのときは、  
だと思いました。 / と感じました。

（得意なことではめられた / 最近の成功した体験や思い出）  
ということもありました。

そのとき、△△△△が「  
」だと言ってくれ / ほめてくれ / 認めてくれて、  
だと思いました。 / と感じました。

この本を読んで、  
だと思えるようになりました / 考えるようになりました。

これからは苦手なことや得意なことについて、  
だと思えるようになり / 考えるようになり、  
という気持ちで取り組めるようになりました / 挑戦したいです / 努力したいです。